

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 在宅福祉サービスの充実

指標	在宅福祉サービス利用者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【障がい福祉課】	647	818	871	780
評価	(状況) 在宅福祉サービスの利用者は、基準値(647人)と比較して、224人増加し、前年度と比較しても53人増加しました。					対 前年度
	(要因) サービス利用登録者の増加数に対し、施設入所者数が増加しなかったことが挙げられます。					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						☀️ (達成)

基本事業02 療育相談・指導の充実

指標	状態にあった療育・指導を受けていると思う保護者割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【障がい福祉課】	86.0	89.0	85.0	90.0
評価	(状況) 状態にあった療育・指導を受けていると思う保護者割合は、基準値(86.0%)と比較して、1ポイント低下しました。つつみ学園を利用する保護者アンケートの結果では、満足度は82%から95%に上がっている一方で、こどもデイサービスセンターを利用する保護者アンケートの満足度は97%から75%に低下しました。					対 前年度
	(要因) 指定管理者が変わり運営方針やスタッフが大きく変わったことが挙げられます。					☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						☔️ (低)

基本事業02 療育相談・指導の充実

指標	療育相談を受けている0歳から18歳までの年間のべ利用者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【保育課】	126	104	151	156
評価	(状況) 療育相談を受けている0歳から18歳までの年間のべ利用者数は、基準値(126人)と比較して、25人増加しました。こどもデイサービスセンターの療育相談（体験利用）も順調です。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						☀️ (高)

基本事業02 療育相談・指導の充実

指標	療育サービス年間のべ利用者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【保育課】	1,316	1,609	1,617	1,394
評価	(状況) 療育サービスの年間のべ利用者数は、基準値(1,316人)と比較して、301人増加し、前年度と比較しても8人増加しており、前期目標値を達成しています。つつみ学園は通園利用者数の増加に伴い、療育事業の利用者も増加しており、こどもデイサービスセンターの療育事業は利用者がやや低下しましたが、総合的に実績値は上がっています。					対 前年度
	(要因) つつみ学園やこどもデイサービスセンターの認知度が高まっていることが挙げられます。					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						☀️ (達成)

基本事業03 障がい者（児）の社会参加

指標	障がい者（児）の就労者数（累計）（就労支援センター登録者のうち）（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【障がい福祉課】	140	194	260	300
評価	（状況）障がい者（児）の就労者数は、基準値(140人)と比較して、120人増加しました。					対 前年度
	（要因）利用者の障がいの特性をしっかりと理解し、それに応じた支援をしたことが就労に結びついたことに加え、調査をした結果、就労の実態を把握できたことが挙げられます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (高)

基本事業03 障がい者（児）の社会参加

指標	障がい者（児）の就労割合（就労支援センター登録者のうち）（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【障がい福祉課】	47.1	42.4	53.4	50.0
評価	（状況）障がい者（児）の就労割合は、基準値(47.1%)と比較して、6.3ポイント向上し、前年度と比較しても11.0ポイント向上しました。					対 前年度
	（要因）利用者の障がいの特性をしっかりと理解し、それに応じた支援をしたことが就労に結びついたことに加え、調査をした結果、就労の実態を把握ができたことが挙げられます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏠 (達成)

基本事業04 市民啓発の充実

指標	啓発活動の回数（回）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【障がい福祉課】	26	41	42	50
評価	（状況）啓発活動の回数は、基準値(26回)と比較して、16回増加しました。					対 前年度
	（要因）令和元年度は、防災フェアや障がい者スポーツ・レクリエーション大会に加え、手話リレーキャンペーンや、障害者差別解消法の説明会等のイベントを実施したことが挙げられます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (高)